

産業医科大学若松病院 リハビリテーション部 (2023-2026)雑誌論文

著者・共著者	発行年月	表題	掲載誌名	出版社	巻号頁	論文種別	記述言語	査読の有無
Tateishi Satoshi	2023	Association of combined hip-pelvic-lumbar mobility with hip muscle strength and clinical outcomes in patients treated for femoroacetabular impingement syndrome:A case-control study	Journal of Orthopaedic Science	ELSEVIER	28(5): 1027-1033	原著	英語	あり
中津留正剛	2024	臨床家における事例報告・事例研究のススメ	作業療法・福岡	福岡県作業療法協会	22(1): 22-29	特集	日本語	なし
中津留正剛	2025	第III部 中枢・運動器障害の作業療法 第2章 高次脳機能障害	OT臨床ポケット手帳	ヒューマンプレス	168-188	書籍	日本語	なし
立石聡史	2026	股関節鏡手術後のリハビリテーション	臨床スポーツ医学	文光堂	43(3): 298-303	解説	日本語	なし
立石聡史	2026	大腿骨寛骨臼インピンジメント症候群に対する理学療法	PTジャーナル	医学書院	60(2):	解説	日本語	なし
宇都恒平	2026	気管切開後に遷延した嚥下障害が可動式気管カニューレ導入後に改善した脳幹梗塞患	クリニカルリハビリテーション	医歯薬出版	35 (4) 430-433	Case Report	日本語	あり

発表者名	発表年月日	演題名	会議名	学会区分	開催地	発表言語	発表形式	演題区分
松尾奈名子	2023/4/8	勤労者の脳卒中患者における歩行能力とその転帰に関する兆背-北九州脳卒中地域連携バスデータを用いて-	第14回日本ニューロリハビリテーション学会学術集会	全国	福岡	日本語	口述	一般
高橋 誠	2023/6/29~7/1	大腿骨寛骨臼インピンジメント症候群患者における片脚立位機能と荷重動作との関連	日本スポーツ整形外科学会2023	全国	広島	日本語	口述	一般
矢野雄大	2023/10/23	当院の肺高血圧症患者における運動療法の実施率と安全性	第9回日本心臓リハビリテーション学会九州支部地方会	九州	福岡	日本語	口述	一般
立石聡史	2023/10/27	FAIS患者の胸郭回旋可動域は骨盤後傾機能、core stabilityに関連する。	第50回日本股関節学会学術集会	全国	福岡	日本語	口述	一般
高橋 誠	2024/1/6~1/7	大腿骨寛骨臼インピンジメント症候群患者における片脚立位機能と荷重動作との関連股関節・体幹機能との関連についての調査	日本スポーツ理学療法学会	全国	埼玉	日本語	ポスター	
宇都恒平	2024/1/27	気管切開術後に嚥下障害が遷延するも、経口摂取を獲得できた脳幹梗塞の1例	第12回日本語聴覚士協会九州学術集会大分大会	九州	大分	日本語	口述	一般
松尾奈名子	2024/7/14	重症下肢筋力低下を呈した腰椎椎間板ヘルニア患者に対して、針筋電図に基づく理学療法の経験～歩行能力、JOABPEQの改善を認めた一例～	第33回福岡県理学療法士学会	福岡	福岡	日本語	口述	一般
高橋 誠	2024/9/12~9/13	鏡視下FAI手術および関節唇温存術の術後短期成績MCID達成を可能にする予測因子の調査	日本スポーツ整形外科学会2024	全国	東京	日本語	ポスター	一般
立石聡史	2024/9/14	FAISに対する可動域評価技術を科学にする試み	第12回日本運動器理学療法学会学術大会	全国	東京	日本語	口述	シンポジウム
金紀勢	2024/9/29	脳卒中重度片麻痺患者の発症時より呈していたサルコペニアの進行を予防した一症例	第22回日本神経理学療法学会学術大会	全国	福岡	日本語	ポスター	一般
宇都恒平	2025/3/22	非言語性表出が保たれた超皮質性感覚失語患者に急性期からの言語療法を行い日常会話場面におけるコミュニケーション能力が改善した1例	第13回日本語聴覚士協会九州学術集会鹿児島大会	九州	鹿児島	日本語	口述	一般
松尾奈名子	2025/6/13	車椅子を利用するポリオ罹患者に対して腕時計型ウェアラブルデバイスの心拍数に基づく身体活動量評価の試み	第62回日本リハビリテーション医学会学術集会	全国	京都	日本語	口述	一般
金紀勢	2025/8/23	Bown-Sequard-Syndromeを呈した視神経脊髄炎スペクトラム障害患者の重度歩行障害に対し理学療法介入した一症例	第34回福岡県理学療法士学会	福岡	福岡	日本語	口述	一般
立石聡史	2025/9/12	FAISに対する理学療法の実践	日本スポーツ整形外科学会2025	全国	東京	日本語	口述	レクチャー
高橋 誠	2025/9/12~9/13	大腿骨寛骨臼インピンジメント症候群患者に対する鏡視下手術の患者許容状態達成を可能にする予測因子の調査	日本スポーツ整形外科学会2025	全国	東京	日本語	口述	一般
立石聡史	2025/9/15	FAISに対する新しい可動域評価方法を確立する試み	第33回整形外科リハビリテーション学会学術大会	全国	東京	日本語	口述	シンポジウム
Tateishi Satoshi	2025/10/4	Does posterior pelvic tilt and lumbar kyphosis mobility affect patients reported outcome measures in patients with FAIS	International Society of Hip Arthroscopy 2025	世界	福岡	英語	口述	一般
Takahashi Makoto	2025/10/4	Preoperative hip flexion strength as a predictor of Achivement of Minimal Clinically Important Difference After Hip Arthroscopy Surgery for Femoacetabular impingement Syndrome.	International Society of Hip Arthroscopy 2025	世界	福岡	英語	ポスター	一般
Takahashi Makoto	2025/10/5	International Perspective on the treatment of FAIS: Japanese	International Society of Hip Arthroscopy 2025	世界	福岡	英語	口述	シンポジウム
矢野雄大	2026/1/26	多忙な臨床現場においても実践可能な理学療法新人教育制度構築への取り組み	第14回日本理学療法教育学会学術大会	全国	東京	日本語	ポスター	一般